



“総会開催” (5/20)

会長以下、22名の委員が参加し、今年度の事業計画や収支予算などを審議する「通常委員会（総会）」が開催されました。今年の基本方針案では、今までの実績をつなぎながら、次の一歩を進む「継往開来」をテーマと定め、持続可能な地域作りのため、各部会での様々な活動を実施していくことを提案。予算案も含めて全会一致で承認され、9年度目をスタートしました。

10年後ではなく、5年後の中津江の将来像を見据え、減っていくヒトの中で必要なモノを守りながら、変化することを考えていく。今年度は地域の在り方を探る一年と位置付けています。

継往開来（けいおうかいらい）
～これまでに活かし、
これからを創る～



令和5年から3年連続で開催してきた中津江独自の認知症勉強会。継続実施が重要だと今年度も、「まなぶ部会」と「くらす部会」が合同で行うこととしています。初回の打合せは大雨の影響で延期となりましたが、事業計画では認知症の方への対応の仕方や、支える家族のストレス解消の方法などを学ぶ勉強会を予定しています。その他まなぶ部会では体験型の人権講演会や中津江の歴史を次代につなぐ講座等を、くらす部会では高齢者訪問事業、デマンドバス利用促進事業の継続実施に加え、新規事業として『遺影撮影会』の開催を検討中です。随時お知らせしていきますので、是非ご参加下さい。

今年の認知症勉強会は…



警察、自衛隊など関係機関の役割分担を明確化する必要性も部会内で共有し、今後の検討課題としました。

地域の安心・安全を！

“まもる部会”では、新年度の活動テーマを「備えをチカラに、共に支えあう安心のカタチ」とし、6月に初部会を開催。災害時の安全確認がスムーズに、そして確実に行える体制づくりの推進についてや、う回路としての生活道路点検の日程などを協議しました。また、被災時の行政や消防

部会活動も本格スタート！

ふるさとまつり始動

秋の収穫を楽しみに
昨年度から「つくる部会」で取り組んでいる遊休農地を活用した作物栽培。秋ソバ作り成功に気を良くし、今年は別の作物も植えてみようとして、6月初めには念願？の落花生を定植。部会員自体が楽しみながら作業を行っています。今年度はソバや落花生の収穫に小学生が体験として参加できないかな等、部会だけでなく、色んな主体が関わることも考えています。また、様々なイベント出展で販売していく事も検討中。でも、まずは自家製ピーナッツで一杯かなあ。



第44回ふるさとまつり

期日…11月8日(日)
場所…中津江振興局前

地域最大のイベント「中津江村ふるさとまつり」について、企画運営を担っているほちぼちいこう会が初会合を開催。むらづくり役場の「つくる部会」を始め、委員以外の若手メンバーも含め、前回の反省を踏まえて今年の内容を検討してもらいました。日程や開催場所などの基本案とともに目玉となる住民参加型イベントの手法、会場レイアウトなど、概要を検討。まずは「参加者も主催者も一緒に楽しもう」と新たなスタートを切りました。



小平田出身のヒデ子さん、小中学校では友達と遊んだ記憶より、田んぼや畑の作業、家畜などの世話が忙しかったとか。農繁期になると、11人家族の食事を、小さい頃からお母さんと一緒に作っていたそうです。菊池ドレスメーカーで働き、洋裁で身を立てようと頑張っていた昭和28年、豪雨災害でお店が流され、目標を断念したものの、元来の積極性で乗り越えてきたそうです。片桐クリーニングで働いていた時に、お隣りのご主人と出会い恋愛結婚。車の登録等の手続きなど会社と家を守ってこられました。やっと落ち着いた35年前から、毎日続く日記と新聞のコラムの書写をされてるそうです。海外や国内旅行も沢山行かれた様ですが、ご主人の皇居での旭日雙光章の受賞と園遊会に参加した事が、私の宝ですとの事。これからも健康管理に頑張っ、元気にお過ごし下さい。



宮部ヒデ子さん
(114)92歳
昭和8年生まれ

**地域のお宝！
今月のご長寿さん..**

**地域のお宝！
今月の若え〜し..**

**まさや
中村匡哉くん
(池ノ山)2歳
令和6年生まれ**



取材中、リュックを背負ったままそこら中を元気に駆け回る「まさや君」とても活発で外遊びが大好き。砂遊びに滑り台、かけっこ得意で動きまわってます。こども園ではほし組のお友達3人で運動会で踊る「お寿司のピクニック」を練習中。そんな運動大好きな「まさや君」ですが、家族みんなで一緒に寝ても朝の5時立に起き出す早起きさん。大好きなイチゴと白米があれば、モリモリ食べて元気いっぱいです。こども園の通園途中は、ダンゴムシを探すのがルーティーン。お姉ちゃんからプリンセスの洋服を着せて貰ってまんざらでもない様子、お兄ちゃんとはケンカが多く、妹ははいはいないばあっ！を。お母さんのお手伝いもよくしてくれるそうです。匡哉の匡は「正す・救う・支える」の意味があり、困っている人を支えられる人になっての願いが込められています。“健康一番、いっぱい食べて大きくなってね！”ママより。

小学生の田植え体験

久しぶりの青空が広がった6月10日、田ノロで津江小学校全校児童による田植えが行われました。渡辺友明さん指導のもと、先生と一緒にそろりそろりと田んぼの中へ。手練れた子もいれば、カエルから逃げ回る子もいたり終始、賑やかな声が響いていました。教科書やネットでは得られない貴重な体験に、予定した面積では物足りずに、急きょ別の田んぼへも出陣するなど、みんな少し



興奮気味？でも低学年の方が熱心だったかな(笑)実りの秋には子どもたちで稲刈りも行うとのこと。お米作りに限らず、これからも地域に出かけて多くの人と色々な経験をしてくださいね。

将来の日本を担う高校生と座談会

全国でもトップクラスの成績を誇る「大分上野丘高校」の1年生320人が鯛生スポーツセンターで教育研修を行い、3年連続で中津江に特化した探究学習に臨みました。津江中学生徒から90代の高齢者まで、20班に分かれて行った対話形式の座談会では、事前に高校生が考えた日頃の暮らし方や良いところ、困っていることなどの質問に、それぞれの思いで答えておられました。そのインタビューを受けて、高校生の視点で中津江の魅力や課題を整理して発表。住民では気づかない内容もあり、今後活かせるかも…



つれづれ

あっという間に、今年も半年が過ぎてしまった。歳をとると時間が経つのを早く感じるというが、実は私…1週間が長くてたまらない(笑)1年が早く感じる現象を「ジャンーの法則」と言うそうで、感じ方にも法則があるなんて知らなかったが、気が付けば間もなく高齢者の仲間入りをする年齢になった。大した趣味もなく時間を持て余してるだけか(ω;)半年経っても特別に変わったことがあるわけでもないが…何と！この1カ月ほど毎朝、顔を洗っている。“あたり前田のクラッカー”と昭和のフレーズがアチコチから聞こえてきそうだが、元旦の朝しか顔を洗わなかった私にとっては大変化。テレビCMの“10日で顔の印象が変わる！”というキャッチコピーに騙されスキンケアを始めたからだ。鏡を見ながら「おっ、まだまだ若えんジャンー？」と一人ほくそ笑んでると、いつもの声が隣から「そんなくだらしないダジャレばかり言ってるから、父の日のプレゼントもないのよ！スマホの顔文字だけは歳相応だね。」言葉は厳しいが贈ってくれたクリームに感謝(´o`)しかしジャンーの法則まで知っているとは“アツと驚くタメ五郎”やなあ。…昭和ギャグしか出てこん。【描蔵】

道路の改良・維持を要望

道路は豊かで潤いのある暮らしをする上で、非常に重要な社会資本であり、その整備や維持管理は、私達にとって重要な課題です。今回、日田土木事務所国県道の改良や維持に関して要望書を提出し、担当者と現地確認を行いました。令和2年の豪雨災害で被災した道路の復旧状況を確認したり、路面の陥没や舗装の劣化、側溝が土砂で詰まっている状況など、安全な通行に支障が出ている現状を一緒にみながら、今後の対応について説明を受けました。



災害復旧は今年度中に完了予定とのことでしたが、路面補修や道路維持については予算も限られることから、優先度等を勘案し順次、解消に努めていただく事となりました。